

研究・調査報告書

| | |
|---|---------------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 284 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | |
| The impact of alcopops on adolescent drinking: a literature review. Alcopop が若年者飲酒に及ぼす影響：文献レビュー | |
| 執筆者 | |
| Metzner C, Kraus L. | |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日) | |
| Alcohol Alcohol. 2008 Mar-Apr;43(2):230-9. | |
| キーワード | |
| <p>要 旨</p> <p>背景： alcopop (スピリットをベースに甘みをつけ、未成年から若い成年層を市場対象にしたアルコール飲料) の消費が未成年若年者の間で増えている事実は、これらのデザイナー・ドリンク [訳注：alcopop とほぼ同義と思われる] が、若者の時期尚早なアルコール摂取を促すのに一役買っている可能性をもたげさせる。このような alcopop 消費の増大をうけて、若年者の健康への懸念の高まりから、いくつかの国において alcopop に対する特別税の導入などが進んでいる。</p> <p>目的： alcopop 消費量とそれにより予想される悪影響、特に、アルコール消費の頻度と量、アルコール関連有害事象、アルコール以外の薬物使用、危険行動への関与などとの関連を検討する。</p> <p>方法： "alcopop" "alcopops" "designer drink" "designer drinks" をキー・ワードに、コンピューターを用いた系統的文献検索を PubMed、PsycINFOR、Addiction Abstracts から行った。Alcopop と alcopop が若年者の飲酒に及ぼす影響を扱った全ての出版物を対象にした。</p> <p>結果： 現存する研究を分析した結果、総アルコール摂取量による調整がなされていないなどの方法論的な限界のため、alcopop と上述したような悪影響との関連とを示す証拠が乏しいことが分かった。むしろ、総アルコール摂取量とアルコール関連有害事象との間には明らかな関連があることが示唆された。</p> <p>結論： 特定のアルコール飲料を対象にした介入ではなく、総アルコール摂取量を減らすための、根拠に基づいた方法を導入することがアルコール政策の成功には必要である。</p> | |